

「呼と浩特市青少年訪問団ホームビジットファミリーを終えて」

夫婦ともに学生時代の海外留学や語学研修の経験から、長年の間、国際交流に関心を持ちながらも、仕事や育児のために交流の機会に積極的に参加することができておりませんでした。そのような中、呼と浩特市青少年訪問団が岡崎市を訪れホームビジットをされること、その受け入れ家庭を募集することを市報で知りました。

“呼と浩特市から岡崎市にくる中高生の力になりたい”、“彼らと同年代である我が家の子ども達に国際交流を経験してほしい”、そのような思いでホームビジットファミリーに申し込みました。

呼と浩特市の高校生 W くん先に会ったのは子ども達です。ホームビジット前夜に行われた訪問団との夕食会に参加した彼らは、帰宅するなり、“パーティー楽しかった”、“W くん、とても素敵な子だよ”と、嬉しそうに話してくれました。家族全員、翌日のホームビジットがより楽しみになりました。

はたして、我が家にお迎えした W くんは、子ども達の話したとおりの好青年でした。W くと子ども達は、学校の授業、大学受験、放課後の過ごし方、好きなスマートフォンゲームなど、中高生ならではの話題について、お互いに質問したり答えたりしていました。緊張で英語がうまく伝わらないこともありましたが、彼らが異文化を知ろうとする姿に心が温かくなりました。

自宅でゆっくりお茶を飲みながら歓談した後は、昼食にお蕎麦を食べにいき、さらに伊賀八幡宮と岩津天神を参拝しました。W くんは境内を興味深そうに見ていました。

ホームビジットも終了の時間が近づいた頃、W くんが“呼と浩特市にもぜひ来てください”と伝えてくれました。機会があれば子ども達が呼と浩特市を訪れることができればと思います。

7 時間半のホームビジットでしたが、W くんが少しでも日本の家庭の日常と日本文化に触れるお手伝いができたのであれば幸いです。ホームビジットファミリーという貴重な機会をいただきまして、岡崎市国際交流協会の皆様に感謝いたします。